

Heartful Communication

JAひがしみの

ひがしみの

2

2021 FEBRUARY
Vol.275



特集

令和2年度
JAひがしみのアンケート実施結果



中津川市加子母
青木 大樹さん(37)



和牛についての新しい発見を これからも積み重ねていけるのが楽しみ

「自分で血統を考え、つけたい種雄牛を選んで一から育てる『繁殖』がおもしろくて、やってみたくと思った」と話す青木さん。岐阜県農業大学校で畜産を広く学んだ後、21歳で就農。和牛肥育農家である父・新一さんの力添えを得つつ、経営は別で、和牛繁殖経営に取り組んで16年目です。

「これまで毎年、牛の生態や飼養管理に新しい発見があった。これからもそんな経験を積んでいけることが楽しみ。肥育農家と肉屋さん、そして消費者の皆さんに喜ばれる飛騨牛生産に貢献したい。いつか息子の壮樹とも一緒に仕事ができたら」とほほえみます。就農3年目には人工授精師の資格を取得。現在は21頭の母牛を飼い、年間20頭の子牛の出荷を目指しています。

青木さんのような和牛繁殖農家が血統を考えて種付けし、生後8〜9ヵ月まで大切に育てた子牛を子牛市場に出荷します。その子牛が肥育農家にわたり、14ヶ月以上の肥育期間を経て出荷され、肉質等級基準を満たしてはじめて飛騨牛と認められます。



飛騨牛のご注文はAコープへ!

農業の機械化が進んだ昭和30年代、農耕牛を肉用に特産化する動きが全国的に広まりました。岐阜県内でも各地に銘柄牛が存在しましたが、昭和63年に「飛騨牛銘柄推進協議会」が設立され、岐阜県のブランドとして統一されたのが飛騨牛の始まりです。

青木さんは、令和4年に鹿児島県で開かれる全国和牛能力共進会で管内産出の血統牛の産子が活躍し、飛騨牛が一層躍進することを願っています。

Aコープ福岡店(ラビア)
TEL 0573-72-2551

青木さんは現在、J Aひがしみの管内の59戸が加入する東美濃和牛改良組合の組合長を務め、飛騨牛の優れた肉質を生み出す血統の改良に力を入れています。飛騨牛が日本を代表するブランド牛の一つになる中、「和牛繁殖はその源となる仕事なので、将来性と魅力がある」と話します。

将来、父から肥育経営を譲られたときには、繁殖・肥育の一貫経営に取り組みたいと考えています。そうすれば、肉質に対する評価を今まで以上に改良に活かすことができるからです。青木さんは「値段が景気に左右されやすい中で経営体力を堅実に確保し、約1年半後の出荷を見通す目利きの力など、父からはまだまだ学ぶことが多い」と父・新一さんに尊敬のまなざしを向けています。



JA Higashimino
Fresh News

JAひがしみの

ふれっしゅ
ニュース

2021 FEBRUARY



「夏秋トマト研修制度」の修了生が生産協やJAの応援を受けて新しいハウスを建設



春からの独り立ちを応援 トマト研修生のハウス建設

JAひがしみのの「夏秋トマト研修制度」の受講生のうち3人が研修を終え、この春からトマト農家として独り立ちすることになりました。

研修制度の修了生はそれぞれ新しい圃場で、東美濃夏秋トマト生産協議会の会員（以下、生産協）やJAの協力を得ながら雨除けビニールハウスを建設しています。

JAひがしみのでは平成29年度からトマトの栽培希望者を募って、先輩農家の圃場に隣接したハウスで実際にトマトを栽培しながら実践的に経営を学ぶ研修制度に取り組んでいます。Uターンや県外からのイタターの希望者を含めこれまでに6人（今年3名は除く）がこの研修を終了し、トマト農家になっています。行政やJA、生産協、地域の方の協力で住居や農地の紹介を受け、高さ2メートル以上、長さ数十メートルのハウスの骨組みの建設は毎年、生産協の仲間やJAも協力して行っています。



JAひがしみの内で
コンテストも開催



各支店で工夫を
こらした支店だ
よりが好評

手書きで温かみある地域情報 支店だより力作続々

JAひがしみのの各支店では、組合員・地域住民の方とのコミュニケーションを深めようと、支店だよりを発行しています。内容や発行間隔は支店ごとの裁量で作成しており、ふれあい訪問日に一斉配布したり窓口に掲示するなどしています。広報誌には掲載されない支店ごとの地域情報や手書きの温かみのある紙面が目立ちます。広報誌への折込みや窓口で紙面をみかけましたらぜひ目を留めてみてください。

助けあい組織「たんぼぼの会」 手作りエコバッグをプレゼント

JAひがしみのの助けあい組織「たんぼぼの会」は昨年12月、JA訪問介護センター利用者とヘルパーに手作りのエコバッグをプレゼントしました。新型コロナウイルス感染防止のため、同介護センターのヘルパーを通して利用者に手渡しました。

たんぼぼの会のメンバーは「レジ袋が有料化となり、ちよつとした買い物にこのエコバッグを役立ててもらえたら」と話しました。



エコバッグを手作りするたんぼぼの会メンバー

コロナ対策に大きな反響「経営継続補助金」 1次申請1億1,600万円あまり採択

JAひがしみのが行った経営継続補助金の1次申請支援件数は94件となり、採択された事業費の合計は1億1,600万円あまりとなりました。また、2次申請の申請件数は50件で、事業金額は総額7,800万円あまりとなり、これが令和3年2月以降に採択されれば、コロナ禍に苦しむ農業者への大きな支援となります。



JAを通して補助金の申請を行った人からは「販売に影響があり困っていたが支援があり助かった」「個人の小さな農家でも対象になりありがたい」などの反響がありました。具体的な申請の内容は、密を避けて作業をするために、1人あるいは少ない人員で作業がしやすいよう機械装置を導入するケースが目立ちました。例えば、複数人での作業を解消するため農業用ドローンを導入したり、1人で広い面積で作業できる乗用草刈り機や運搬車を導入するなど。また、トマトやいちごのハウスを少ない人員で省力管理するために環境制御装置を申請するケースも複数ありました。JAでは「農畜産物の販売等にもコロナ禍の大きな影響があった中で、JAとして少しでも農家の収入補填の手助けができれば」と話しました。

※経営継続補助金は、新型コロナウイルスの影響を克服するため、国が農林漁業者を支援するもの。接触機会を減らす生産・販売方式への転換や感染時にも業務を継続する体制の構築など、一定の要件を満たしたものに資金面などで支援が受けられます。計画作成や申請、事業実行にいたるまで、JAなどの支援機関の伴走支援を受けることが条件となっています。

JA葬祭センターで フラワーアレンジ楽しむ

恵那地域女性部は12月24日、JA葬祭アグリホールえなでフラワーアレンジメントの講習を開き、12人が参加しました。「アグリ花壇」(JA葬祭の生花担当)を講師に、アレンジメントを楽しみました。新型コロナウイルス拡大の情勢の中、今年度はまだ行っていなかった新役員の紹介も行いました。



アグリホールえなでフラワーアレンジメント講習を開いた恵那地域女性部

日頃の感謝込め 阿木支店でパンジー苗配布



阿木支店では恒例のパンジーの苗配布

JAひがしみの阿木支店では12月17・18日、Aコープ阿木店の売り出しに合わせて来店者にパンジーの苗を配布しました。パンジーの苗は、組合員・利用者への日頃の感謝を込めて、職員が種まきし育てたもの。支店協同活動の一環です。来店者は約2千鉢の色とりどりのポット苗の中から好みの色を選んで持ち帰りました。約300人の利用客に喜ばれました。

JAひがしみの成人式 新成人を激励

JAひがしみののは1月8日、20歳を迎えた職員16人の新たな門出を祝い、成人式を行いました。



細江組合長と記念品を受け取る新成人代表職員

細江成徳組合長は「社会人としての責任と自覚を持ち、地域住民の皆さまから信頼される職員を目指してほしい」と期待の言葉を贈りました。新成人は「社会人として今まで以上に成長したい」「頼りにされる職員を目指します」と一人ひとりが誓いの言葉を述べました。中津川支店で金融共済を担当する大山来季さんが代表して名刺入れなどの記念品を受け取りました。

JAの専門営農指導員がお教えます!

JAアグリゼミ2021(栽培講習会)

対象者

JAひがしみの管内にお住まいの方で、

- ◆自分で水稲、野菜を栽培してみようという方
- ◆産直出荷等されている方で、栽培技術の向上を図りたい方 等



開催内容(予定)

JA 営農指導員が講師となって米と野菜の栽培のコツをお教えます。栽培の基本的な技術から産直等での販売まで幅広い内容で、参加者には「気軽に質問できる」「田んぼや畑での講習がありわかりやすい」と好評です。ぜひ参加してみませんか?

※時期については変更する場合があります。

旬
辰
旬

情報

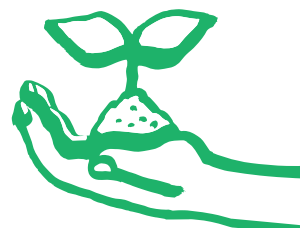
2021年
2月

★水稲コース 平日、日中開催・1回1時間程度

回数	時期	内容	場所
第1回	2021年4月下旬	田植え後の水管理と除草剤の上手な使い方について 他	室内
第2回	2021年6月下旬	中間防除と追肥について 他	圃場(室内)

★野菜コース 平日、日中開催・1回2時間程度

回数	時期	内容	場所
第1回	2021年4月下旬	夏野菜の栽培方法のコツ 他	室内
第2回	2021年6月中旬	夏野菜の栽培管理 他	室内(圃場)
第3回	2021年8月上旬	秋野菜の栽培方法のコツ 他	室内(圃場)
第4回	2022年2月中旬	おいしい野菜作りの準備 他	室内



開催場所

各アグリセンター管轄管内

開催日時・場所等詳細については、後日申込者に連絡いたします。

参加費用

無料(野菜コースの希望者のみテキスト代500円)

お申し込み方法

今月号(2月号)に折込の申込書でお申し込み下さい。

またはJAひがしみの各支店・営業所・経済センター・アグリセンターの窓口にも申込書がありますのでご利用下さい。

お申し込み締め切り

令和3年3月26日(金)

お問い合わせ

各アグリセンター



年金+aにチャレンジ!
あなたも「なす」を出荷してみませんか

JAひがしみのと東美濃夏秋なす生産協議会では、なすの出荷に挑戦する人を募集・応援しています。「なす生産拡大大作戦」といいます。

1日1袋からでも出荷でき、JAの営農指導員が畑に向いて気軽に相談にのります。あなたもなす栽培で年金+aにチャレンジしてみませんか。

なす栽培の魅力は、「年金+aの収入」を手をかければ成果が出る面白さ、「体を動かして働き、健康に」「共通のものづくりを通じて仲間ができる」などたくさん。

栽培しているなすの品種が千両2号であれば、途中参加もOKです。春、畑仕事に調子が出てきてからでも参加できるのでご相談ください。

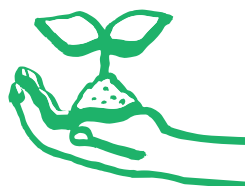
上記のアグリゼミに参加して、出荷へ向けた技術を身に付けながら「大作戦」に参加することもできます。

JAひがしみの営農部

営農企画指導課 成瀬、篠ヶ瀬

Tel 0573-178-0137





農業者年金制度に加入しましょう

加入要件は
3つ

- ◆ 20歳以上60歳未満
 - ◆ 国民年金第1号被保険者
 - ◆ 年間60日以上農業に従事
- この3つを満たす方が加入できます。

例えばこんな方も加入できます！

- ◎ 農業経営者の奥さん
- ◎ 後継者
- ◎ 自営業の兼業農家
- ◎ 早期退職後に農業を始めた方
- ◎ 今まで野菜を作っていて夫の定年退職により第1号被保険者になった奥さん
- ◎ 家が農家で季節労働的に手伝っているアルバイトの息子さん・娘さん など



平成14年度から令和元年度までの
18年間の平均運用利回りは
+2・55%です。

保険料は月額2万円〜最大6万7千円までで千円単位で設定できます。農業の経営状況や生活設計にあわせて増額や減額もできます。任意脱退や再加入も自由です。

財政方式は「積立方式」×「確定拠出型」

農業者年金は平成14年から仕組みが変わり、加入者が自らの保険料を積み立てる「積立方式」です。また、積み立てた保険料は運用され、毎年の付利額（運用収入）によって将来受け取る年金額が決まる「確定拠出型」が採用されています。

現行制度の資金運用は旧制度と完全に切り離されていて、少子高齢化の時代に合った安心できる安定した制度です。

（旧制度の年金給付についても政府の財政措置が法定化されていて受給者の年金が減ることはありません。）

終身年金で、生涯にわたり受給ができます。

80歳までの保証付きで、仮に80歳までに亡くなった場合は、80歳まで受給できるは

ずであった額が遺族に死亡一時金として支給されます。

保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります。

ご家族も農業者年金に加入されていれば、確定申告の際に経営主がまとめて控除できます。受給時も公的年金控除の対象になります。また、万一の死亡一時金は所得税の非課税対象です。

子育て世代や就農間もない方には、国から保険料助成があります。

通常の加入要件に加え、39歳までの方や控除後の農業所得が900万円以下の方など要件を満たす方には、保険料を2万円に固定して最大1万円を支援します。

JA各支店が
農業者年金制度の
お申込み窓口になっています。
お気軽にお尋ねください。

金融部
稲熊卓





アスパラガス 十分な土づくりをして植え付ける



グリーンアスパラは、疲労回復を早めるアスパラギン酸と高血圧を予防するルチンを多く含みます。早春に苗を植え付けて翌年から収穫できます。

【栽培時期】

永年性なので、一度植え付けると7～8年同じ畑で栽培できます。一般には、2～3月に園芸店で苗を求めます(図1)。1年目は収穫しないで、球根を十分養成して翌年から収穫を始めます。種から育てるときは3～4月にまき、1年間株を育成して早春に苗を植え付けて翌年から収穫します。

【品種】

太い若茎がたくさん取れる「シャ

ワー」(タキイ種苗)、「ウエルカム」(サカタのタネ)など。

【植え付け】

畑に1㎡当たり苦土石灰200gをまき、よく耕しておきます。次に、畝幅120cm、深さ30cm、幅30cm程度の溝を掘り、この溝に1㎡当たり堆肥2kgと化学肥料(N:P:K=10:10:10)100gを与えます。苗は株間40cmに植え付けます(図2・3・4)。

【管理】

茎葉が繁茂すると倒れやすくなるため、株の両側にひもを張ります。追肥は、生育の盛んな6月と芽の動く前の2～3月に、畝の肩にそれぞれ畝1㎡当たり化学肥料50gを与えます。

【病害虫の防除】

梅雨期と秋雨期の茎枯病が大敵で、茎と枝に紡錘形の病斑を生じ、進行すると茎が枯れこんでしまいます。「Zボルドー」や「ダコニール1000」などで防除します。また、地上部が枯れる晩秋に、茎を地際から刈り取り、焼却して予防します。

【収穫】

茎が伸びてきたら、先端が開く前に草丈30cm程度で地際から切り取ります。早春の1カ月間初物を楽しみ、その後一時収穫を中断します。1株

に数本の茎を育てて葉が茂るようになったら、夏から秋まで次々に出る若茎を順次収穫します。

【種から育てる場合】

3～4月に土作りを済ませた育苗床に20cm間隔に溝をつけて、株間15cm、1カ所2～3粒の種をまきます。草丈10cm程度のときに間引きし、1本立てにします。苗の養成中に2～3回化学肥料を1㎡当たり50g程度を追肥します。数が少ない場合は、ポットにまいて苗を育成しても良いでしょう。

図1 購入苗

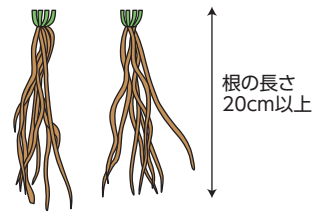


図2 溝切り

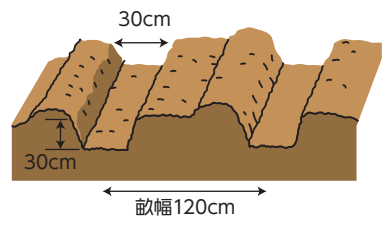
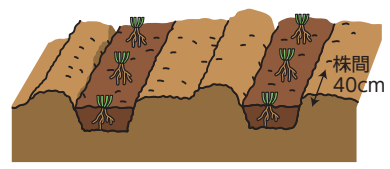


図3 施肥



図4 植え付け



彩・菜・栽

2021年
2月

令和
2年度

JAひがしみのアンケート実施結果

このアンケートの回答者は…

※「回答者についての質問」を大まかなイメージとしてまとめました。

- 男性が8割以上です。
- 年齢は60～70歳代が8割近く、50歳代の方が1割強います。
- そのうち半分近くの方が耕作放棄地を抱えながら農業を営んでいます。
- 専業農家は5人に1人です。
- 農業を主としているのは3割の人です。50^{ha}（5反）以下の農地を持ち、農業以外を主な収入源としている人が半分近くで、無職の人も2割います。
- 正組合員が約8割、准組合員が1割5分で、残りは組合員ではない地域の方です。
- 約8割の方が総代や支店運営委員、農事改良組合長などを務め、JAの運営や農業に関わっています。

アンケート実施方法

令和2年7月10日から10月31日の間に、総代、生産者組織の代表者、支店運営委員、そのほか抽出した正・准組合員、利用者の方に対し、1,743通のアンケートを配布しました。そのうち819通の回答（回収率46.99%）をいただきました。

ご協力ありがとうございました。



アンケート回答の中から
抜粋して紹介します。

JA 自己改革へ のご意見

【末尾のA～Eの文字は10・11ページの回答A～Eに対応しています。】

専業農家にはJAの手も届くのかもしれないが、兼業農家にはJAの手は届いていない。 **A**

毎年赤字となる米づくりをどうするか悩んでいる。水稻の経営がマイナスになることがないよう期待する。 **C**

兼業でやめるにやめられない農家への省力化農法等の指導やその他の提案をお願いしたい。 **B**

団塊の世代が80歳代になる10年後には、農地の管理がほとんどできなくなると考えられる。今後の地域農業のあり方を提案し、先導する職員が必要。 **B D**

JAの自己改革は、その重要性や農家のニーズ等が全職員に浸透しているか疑問。情報の共有化ができていないように見える。

収益を重要視した規模拡大や効率化はそれなりに進んでいると思うが、栽培や生産の楽しみ等については軽んじられている気がする。 **A**

地域の農業法人に対し、JAがより積極的に出資や人的支援など直接的な支援活動はできないか。未来に向けての投資と考え積極的な対応をお願いしたい。 **B**

主食用米の買取に努力されているが、さらに買取単価と買取数量に努力してほしい。また、肥料・農薬や苗代等の農業資材のさらなるコスト低減にも努力してほしい。 **C**

農地・農作業を営農組合等に集約する一方で、個人農家への農機貸出にも対応してほしい。 **B**

各営農組合へオペレーターなど希望の人材を派遣できるシステムがあると安心。 **B**

鳥獣害対策では、電柵等を個人で設置すると費用も時間も余分にかかってしまうので、JAで資材の販売だけでなく駆除等の直接的な対策を行ってほしい。 **B**

もっと営農指導員を設置してほしい。 **D**

宿泊施設・食事処・食品加工メーカーとの連携が重要。それらの要望を取り入れた実需者起点の農産物の生産を指導してほしい。

農業関連部門ではもう少し商社レベルになっても良いと思う。 **C**

ふれあい訪問日
賛否両論

今はコロナ対応のため気を遣っていると思うが、普段は担当者が顔を出してくれて安心感があり、相談もできるのでありがたい。地域パトロールの意味もあると思う。

職員と会話をする機会が増えるので有意義な活動だと思う。他ではない取り組み。

気軽に声をかけてくれるし、頼んだことは素早く対応してくれるのでありがたい。

広報誌に折り込まれていた「支店だより」が印象的で良かった。

廃止するべきだと思う。ポストインだけになってしまっており、意味を考えるなら、やり方を変えるべき。土日の活動も必要。

組合員を訪問して配達する時間があるなら人員削減できるのでは。

良いことだとは思いますが、担当者に農業に関する相談ができないのは不満を感じる。

窓口に行けない人もいるので、今後も継続してほしい。

全戸訪問は廃止して必要なところだけ訪問し時間、労力の短縮。広報誌の配布は、市のような形をとれば良い。

職員の方が
ご意見



「信頼」・「安心」・「気楽」=農協職員 満足している。

こちらの要望にすぐ対応して下さい、地元の農協だと感じる。

若い職員が早くに辞めてしまうのは残念。

どの職業・職場においても、やはりその人となりの方が大切。年金担当者の方には感心した。

入院等でJA共済の請求をしたが、対応が早くて助かった。

対応が明るくテキパキしていて気持ちが良い。

現在の担当TACは感じが良いがもう少し訪問頻度を多くしてもらいたい。

グリーンセンターでは野菜の育て方や肥料の種類などを気軽に聞け、重い買い物カゴをレジまで運んでくれたり客とのふれあいを大切にしている親しみがわく。

アグリセンターや農機センターは少数でも頑張っている。

農業に対する勉強をしていないように思う。無知な職員が多い。

職員の対応は礼儀正しいが、事務処理にかかる時間が他の金融機関と比べ長く感じる。専門知識を身につけJAの業務に対する質問にも正しく答えられるように望む。

JAは景気が悪くなってもつぶれないというムードが組合員に少しでも伝わるとダメ。常に緊張感をもって頑張してほしい。

JA職員にもっと農業を知ってもらいたいし、経験してほしい。

春や秋の作業時に田んぼの状況を少しは見に来てアドバイスがほしい。

その他の
ご意見



資料では多くの取り組み項目があるの分かるが、日常の中での活動が見えてこない。もっと組合員へのPRを強化すべき。もっと必要性を自らアピールしてほしい。

グリーンセンターは整理整頓をし、配置を検討した方が良い。

農機具の担当者が少ないので対応に時間がかかる。

給油所の販売価格の地域格差が大きい。同じJASSなので同一価格にできないのか。

JAを通さずに経営している農家の方が活気がある。これまで通りの販売ではやっていけなくなると思う。

JAの一番の弱点は営農指導員不足だと思う。質も大事だが人数がほしい。

少子高齢化が進み自家消費農業は荒れる一方。小さな農家の相談にもってほしい。

農家はJAが頼りなので、農家の側に立って、市・県・国に要望してほしい。

価格や品揃えについてホームセンターに負けないくらい力をつけてほしい。

個人的には減農薬を心がけているので、減農薬・減肥料の省力化に向けた指導を期待する。

稲作農家の希望者に「ふれあい訪問日」と同様の定期的な訪問・営農指導をしてほしい。

組合員が高齢になっているので、草刈りや収穫米の運搬等を、事情に通じたJA職員OBにお願いできるシステムを作ってほしい。

現在の農家の大きな問題として、農機具の更新がある。リース事業・ローン事業・補助金等をうまく活用して、持続可能な営農体系を作ってほしい。

ライスセンターの自家用米の米袋を15kgも取り扱えるよう設備投資をしてほしい。

農業部門で最新の設備投資や改築を行って、生産性の向上・品質の向上・安全性の向上につなげてほしい。

令和3年度
事業計画に
ご意見を
反映させて
いきます

いただいたご意見はいずれも地域農業の存続へ向けた切実な要望であり、そうしたご意見に対し、現在JAで取り組んでいることと、今後の対応策をいくつかまとめて紹介します。

※A～Eの内容は8・9ページのご意見の末尾についているA～Eの回答となっています。

A

兼業農家への営農指導と収入アップ対策

JAの営農指導員が米作りや野菜作りを教える「アグリゼミ」講座を毎年各地域で開催しています（今月号の5ページで募集中）。家庭菜園の初心者にもわかりやすいと好評で、多くの兼業農家の方に参加いただいています。栽培の基本的な技術から直売所出荷へ向けた指導までを行っています。また、特に米作りについては「水稻青空教室」を各地で開催し、おいしい米作りはもちろん省力化の工夫や新しい技術の情報提供も行っています。また、「なす生産拡大大作戦」として家庭菜園的な農家などからなす出荷農家を育成する取り組みも行っています。令和2年度は27の方が実際に出荷に結び付きました。いずれも広報誌や折り込みで募集を行っています。こうした取り組みを通して農家収入のアップや地産地消の活性化を支援しています。営農指導員が出向く体制でいますので、必要に応じて各アグリセンターへご相談ください。



B

地域の農地を守ることへの対応

農機のレンタル事業は、管理機、ハンマーナイフモア（平地用の自走式草刈機で休耕地や果樹園などの草刈りが楽に行える）の貸出を半日単位で行い、年間45件の利用がありました。この2月からはトラクターについてもレンタルを行う予定です。また、当JAの出資会社で農作業受委託を行う（有）サポートひがしみのでは、春・秋作業や畦畔管理（草刈り）の作業を年間220件ほど受託し、農地を預かって経営を行なっているものが118件あり地域の担い手とともに農地の維持管理を担っています。オペレーターを派遣することはしていませんが、「農機の維持が難しい」、「農作業の労力負担が厳しい」などの状況に応じてこうした事業を行っています。お困りの方はJAにご相談ください。草刈り作業の負担軽減のためセンチピードグラスの普及も進めています。担い手組織を中心に年間1ha以上で施工しており、省力化の効果と費用面などの検討を重ねています。

令和2年度は恵那地域で試験的に農作業応援隊として草刈り作業の請負事業を立ち上げました。また令和3年度は農業応援隊として組合員の困りごとの相談に幅広く対応する取り組みを試験的に行う予定ですのでご相談をお寄せください。

鳥獣害対策では、JAとして直接の駆除活動は行っていませんが、地域ぐるみの対策等に対して行政と連携して補助事業利用への支援を行っています。対策資材の購入・設置費用等への国・県・市の補助金額は合わせて1億1,500万円あまり、受益戸数にして1,049戸（平成30年度）となっています。

労働力を確保する支援として今後、働き手を求める農業者と、農業の仕事をしたい方をマッチングするシステムを考えています。

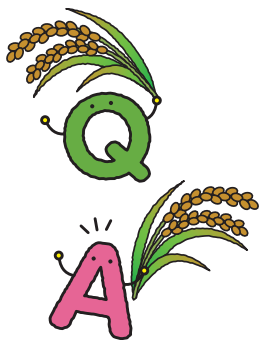


C

生産コストの低減と米の有利販売などによる収入アップ

JAひがしみでは肥料農薬等をはじめとした農業生産の経費削減に向けた取り組みを重ねてきました。中山間地における10a(1反)当たりの米生産経費について岐阜県の試算では直接経費(肥料・農薬・種苗費・乾燥調製料)は45,188円(令和元年度)となっています。これに対し、JAひがしみの管内の大口農業者の直接経費の平均は39,228円となっています(※一般農家の経費については経営面積等により大きな差が出やすいため、大口農業者の平均データを示します)。この差は肥料・農薬代等の経費で削減が出来ているためです。コシヒカリ1俵13,000円で10a当たり収量8.5俵として計算すると110,500円/10aの販売高となり、経費39,228円を引いて71,272円の利益がでます(※ただし人件費は除きます)。近年は全農への委託販売ではなく、JAひがしみとして、50俵以上の出荷契約や品種によっては1袋(0.5俵)から、米を買い取って販売することに力を入れており、その買取価格は14,000円(令和2年12月末)となっています。代金回収のリスク回避の観点から、引き続き全農への委託販売も行いますが、JAひがしみの買取販売は全出荷数量のうち約4割に広がっており、今後も買取と販売の両面から活発な営業活動を行って、**生産者手取りの向上**を目指していきます。行政と連携して地元への供給に力を入れる一方で、精米の定期配送「ひとなる」のほか、米コンテスト入賞米を広告塔にして管内産の米の都市圏へ向けたPRも活発に行っています。「プレミアムコシヒカリ」「清水米」「愛農米」「棚田米」「あさひの夢」など地域ごとの特色ある米や一定の要件を満たした米のブランド化へ向けた商談も数多く進めています。生産コストのさらなる低減では、生産資材の予約注文を徹底し、大手ホームセンターの肥料・農薬の価格調査を行って令和元年度から毎年30品目で**農業者が実感できる価格体系の見直し・低減**を行っています。

米以外の全品目においても市場関係者、食品・飲食関係業者、量販店などの実需者との商談・消費宣伝・情報交換会を年間60~70回ほど行ってきており、販路の開拓と拡大を今後も行っていきます。



D

JA営農指導員の育成

経験の浅い職員は、JAの施設・設備(水田等を含む)を利用して実践的な研修を行っています。支店配属の営農経済担当職員に対しては水稲・園芸品目の研修を合わせて年間8回、専門営農指導員については7回開催し、情報の共有化とレベルアップに役立てています。令和3年度はアグリセンターごとに職員が主要な野菜を栽培する取り組みも企画しており、指導に活かしていきたいと考えます。また、営農指導員は「農業電子図書館」が閲覧できるタブレットを携帯し、病害虫や雑草の情報をその場でネット検索して農家の質問に早く応えられる体制を構築しています。



E

施設・設備の更新

高齢化への対応として、保有米の15キロ米袋の取り扱いを令和3年度以降に計画しています。管内4地域に1拠点ずつ、取り扱いができるカントリーエレベーター又はライスセンターを設けていきます。また、ライスセンターやカントリーエレベーター、選果場等の利用施設では、老朽化への対応とともに、安全性と生産性・品質向上を目指し順次機械設備の更新を行っています。



2022年新卒者を募集しています JAで働きませんか



JAひがしみのでは、2022年卒業生の新規採用を募集しています。
第1回JA説明会は下記の通り開催します。ぜひご参加ください。
予約はリクナビよりお願いします。

- 日時：令和3年3月23日（火）午後2時から
- 場所：JAひがしみの本店

又、下記の中津川市・恵那市開催の説明会にもJAとして参加しますのでぜひご来場ください。

2022年卒 大学生等向けなかつがわ企業説明会

- 日時：令和3年3月12日（金）午後1時30分から
- 場所：にぎわいプラザ5階 コミュニティーホール

恵那合同企業説明会2021

- 日時：令和3年3月18日（木）午後1時から
- 場所：恵那文化センター

2022年卒業生の他に、Uターン、Iターンの方も受け付けています。詳細に関しては総務部人事課までお問い合わせください。

TEL:0573-78-0168（直通）

E-Mail:jinji@ja-higashimino.gjadc.jp



農業だけでなく
地元で必要とされる
幅広い仕事があり
自分の適性を活かして
働くことができます。



組合員・地域の皆さまとの
ふれあいを大切に、
力を合わせて地域貢献を
目指す職場風土があります。



生活習慣病健診のご案内

【健診日・会場】

4月19日（月）	JA坂下支店
4月20日（火）	JA恵那北アグリセンター
4月21日（水）	JA付知支店
4月27日（火）・28日（水）	加子母ささゆり会館

【受付時間】 午前8時30分～午前11時まで

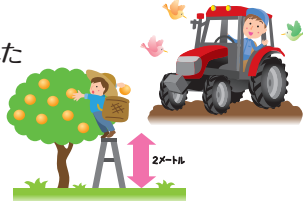
- お申し込み
申込用紙を3月号広報誌に折込（恵那北地域）しますのでご利用ください。また、各支店・営業所でもご用意しておりますので、ご記入の上、提出してください。
肺がん・大腸がん・尿（循環器）の検診をお申し込みの方は、事前に各支店・営業所で検査容器をお受け取りください。
- お問い合わせ JAひがしみの本店 組織広報課 TEL 0573-78-0124

農業者も労災保険に加入できます
**労災保険の
 特別加入で農作業事故に備えを!**

JAひがしみの管内でも農作業中の事故が令和元年度は4件、令和2年度は2件発生しています。農作業中の万が一への備えに、加入を検討してみてください。

補償の対象となる作業は?

- 機械や高所から転落、転倒
- 機械に巻き込まれ、はさまれた
- 作業中に手や足を切った
- 熱中症 など



労災加入のメリットは?

- 労災における必要な治療が無料で受けられます
- 休業期間中、保険料に応じた給付金が付与されます

※労働者が常時**5名以上**の場合、労災保険に強制加入となります。
 ※農業労災判断は労働基準監督署にて致します。

療養、休業給付から遺族給付まで手厚い補償があります。平成30年度からは農産物を市場等まで運ぶ出荷作業、出荷作業後に行われる販売作業も対象になりました。

- お申し込み・お問い合わせ
 JAひがしみの営農部 TEL 0573-78-0137

特選 中古農機情報

点検整備済みで、全農機械センターの在庫となっています。各地域の農機センターまでお問い合わせください。

中セキ乗用田植機

型式
PQZ45K (4条植)
 価格
400,000円 (税込)



クボタ乗用田植機

型式
EP-4 (4条植)
 施肥付、苗載せ台付
 価格
400,000円 (税込)



- 中津川農機センター TEL 0573-61-1028
- 恵那農機センター TEL 0573-26-4135
- 恵南農機センター TEL 0573-56-2622
- 恵那北農機センター TEL 0573-72-2039

【お知らせとお詫び】

**令和3年作付用 水稲箱処理剤「Dr.オリゼプリンス箱粒剤」の
 欠品による代替剤のご案内について**

水稲農薬予約注文書で、ご愛顧いただいております水稲箱処理剤の原体(農薬有効成分)のひとつである「プロベナゾール(商品名オリゼメート)」が、原料調達国(中国)で発生した化学工場爆発事故以降規制が強まり、稼働が停止している状況となっています。製造メーカーとしても他国、国内での製造を模索しましたが、工場の操業、稼働が予定通り進まず、需要期までの供給は困難な状況となっています。

原体の確保が困難となっております「Dr.オリゼプリンス箱粒剤」についても新規製造、供給ができない状況となっております。品物の確保が困難となるため、代替剤のご案内をさせていただきます。

多大なるご迷惑をおかけして誠に恐れますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

代替剤：バイゲットプリンス粒剤10 1kg (商品比較表)

薬剤名	いもち病	もみ枯細菌病	内穎褐変病	白葉枯病	穂枯れ(こま葉枯病)	紋枯病	イネツトムシ	イネドクオイムシ	イネヒメハモグリバエ	イネミズウムシ	ウンカ類	コブノメイガ	セジロウンカ	ツマグロヨコバイ	ニカメイチュウ	ヒメトビウンカ	フタオビコヤガ
Dr.オリゼプリンス粒剤10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バイゲットプリンス粒剤10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

Dr.オリゼプリンス
 箱粒剤



変更



バイゲットプリンス
 粒剤

キラキラ
ひがしみのっ子

兄弟3人で遊ぶ時が、
大好きです!



みんなの面倒をみてくれる頼れるお姉さんの杏ちゃん、少し恥ずかしがりやの太一くん、末っ子でお茶目な花帆ちゃんはみんなの人気者。隣に住むじいじやばあばとは庭で鬼ごっこをして、楽しい時間を過ごしています。

ゲームやYouTubeが好きなお姉さんは学校では算数が得意です。太一くんは恐竜のスピノザウルスに夢中で、家族で福井の博物館へ行ったほど。将来の夢はお寿司屋さん、甘いお菓子が大好きで、何かと泣きまねをしてみんなを困らせる花帆ちゃんは、ピンクのウサギのぬいぐるみが離せません。

「みんなの気持ちがわかる、思いやりのある人に育ててほしい」と話すご両親です。

恵那市上矢作町
小本曾^{あん}杏ちゃん(7)
太一^{たいち}くん(5)
花帆^{かほ}ちゃん(4)

愛のリボンで結ばれた
ファミリーの写真コレクション



ここから新しい愛と未来が
紡がれて行きます...



今日も
二人三脚



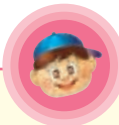
全国の知り合いと
交流することが楽しみ

小幡家の周りには色鮮やかな木製のプロペラ風車がいくつも回っています。「鳥よけやモグラ脅しにもなるが、イノシシ対策にも効果があるよ」と笑顔で話す寿康さん。手先が器用で自作した多くの風車は、知り合いに譲っては喜ばれています。

寿康さんは長年、和菓子屋で商品開発に携わり、古くからのやり方に疑問を持ち、自分で生み出した新しい技術に取り組んで、「幻のあんこ職人」としてテレビで何度も紹介された菓子職人。魚釣りや鉱物探索、ハーモニカなど多彩な趣味を楽しみつつ、現在も宮崎県で地域の村おこしとして手がけた栗加工菓子会社へ技術顧問として出向いたり、菓子店からの依頼を受け、美味しい菓子作りの技術を伝授するため、年間の大半を愛車のハイエースで全国を走り続けています。

3人の子どもも独立し、寿康さんと一緒に出掛けることが増えた美和子さん。「各地の知らない土地で、色々な人との交流ができ、知り合いが出来て楽しんでいます」と話します。色々なことに興味を持ち、納得するまで探求心を持って行動する寿康さんを支えて、「好きなことをやって、2人で元気に健康で過ごすことがこれからの目標かな」と美和子さんは微笑みます。

中津川市坂下
小幡^{とし やす}寿康さん(73)
美和子^{みわこ}さん(67)



ひがし君・みのちゃんの おはなし日和



今やSDGsは全世界で進められている取り組みであり、世界の共通語になりつつある。それを東美濃の農業(今回はいちご農園)で取り組んでいる。しかも女性が積極的に推進していることを知り、素晴らしいと思いました。今後も東美濃の農業分野でもどんどんSDGsを目指して取り組んでほしいです。

中津川市馬籠 Oさん



いちごは好きで買って食していましたが、特集を読んで思いが伝わって来ました。生き方が深いですね。若い女性のパワーが素晴らしいです。地元産のいちご&野菜とお米に目を向けます。これからもパワーのある特集をお願いします。

中津川市宮前町 Nさん

表紙を飾られた二人の女性パワーに圧倒されました。考え方もスゴいですね。若い力に農協は助けになって下さい。

中津川市神坂 Tさん

農業経営者の二人の女性の話、とても頑張ってみてステキです。子育て中の人働きやすいことはいいですね。

中津川市蛭川 Hさん

石川農園のハウス暖房に薪を使っている記事に感心しました。地域の山を守るため、間伐材を使うこと。こうしたことが広がると良いですね。

恵那市明智町 Cさん

私の今年の抱負は、畑作暦をつけることです。記録が本当に役立つのは、三年、四年後かもしれませんが?一歩は今日から...

恵那市中野方町 Kさん

1月号で紹介したいちごを作る2人の女性の姿には本当にたくさんの反響をいただきました。フレッシュないちごとともに、たくさんの方が力をもらったのではないのでしょうか。ありがとうございました!



孫が学校で習ったらしく「自分で作らない」と言って畑を耕してました。何を植えるか「考え中」だそうです。何が沢山取れるか楽しみです?

中津川市中津川 Iさん

頭の体操

【問題】二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	6	9		14	18	21
		A				
	7			11		19
2				12	15	
			10			
				B		
3	8					20
4				13	16	
5				17		E

ヨコのカギ

- ①最低気温が0度を下回る日のこと
- ②どら焼きに挟んである物
- ③片仮名語でいうトリベンジ
- ④節分にまきます
- ⑤冬、雪国の家の軒にぶら下がる物
- ⑦——の道も一歩から
- ⑩牛肉はビーフ、鶏肉は——
- ⑫お釣りと一緒に受け取ることも
- ⑬多くの人が眠っています
- ⑭チョコレートの原料になる植物
- ⑰アルコールを含む調味料
- ⑲間違った答えに付ける印
- ⑳バレンタインデーに伝える人もいます

タテのカギ

- ②たき火の——を念入りに行った
- ⑥チョコレートを——にかけて溶かした
- ⑧構えてシャッターを切ります
- ⑨ジャムやピクルスなどを詰めます
- ⑩この——の輪、なかなか外れないんだ
- ⑪就職活動の際に書きます
- ⑮シャープペンシルに入れます
- ⑯浜辺に寄せては返すもの
- ⑱文庫本に布製の——を掛けた
- ⑳夕方になると家々の窓にともります
- ㉑アシカに似た海獣

応募要領

ハガキに、①クイズの答え ②郵便番号・住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦今月号で良かったところ ⑧JAまたは広報誌に対する意見・要望などをご記入の上、下記までお寄せ下さい。

*読者の皆様からいただいたお便りの個人情報は、当選者へのプレゼント発送に利用させていただきます。また、お便りの内容を紙面に紹介する際は、地区とイニシャルを掲載させていただく場合があります。

〒509-9132 中津川市茄子川1646-19
JAひがしみの 本店 総合企画部 組織広報課

応募締切日

令和3年2月25日(木)

賞品

正解者の中から抽選で5名様に「農協全国商品券(1,000円分)」をプレゼント

1	ハ	ツ	ユ	メ		17	タ
2	ゴ	ウ		シ	14	ト	キ
3	イ	カ	8	リ		15	カ
4	タ		3	モ	ヤ	シ	21
5	ミ	リ		7	ハ	コ	16
						ラ	18
						イ	19
						ス	12
						ク	13
						ロ	マ
						メ	

■1月号の答え
カドマツ(門松)

■クイズ当選者
山内 せつ子さん
伊藤 正一さん
山田 照子さん
西尾 達也さん
渡辺 このえさん
(応募総数129枚)

理事会

第12回理事会 (令和3年1月22日)

次の事項が審議されました。

【附議事項】

- ①令和2年度仮決算に係る監事監査実施調査に基づく改善を要する事項に関する回答書について
- ②令和3年度事業計画について
- ③岐阜県信用農業協同組合連合会への増資について
- ④不良債権の償却処理について



JAひがしみの概況

(令和2年12月31日現在)

組合員数	32,491人
出資金	26億1,537万円
貯金	2,419億4,064万円
貸出金	354億3,590万円
共済保有高	5,854億6,398万円
購買品供給高	38億443万円
販売品取扱高	34億6,575万円

ここだけの話

■この春から独り立ちする研修生を応援しようと、ハウス建設に集まったトマト農家の勇んだ笑顔がまぶしい。若手のJA職員もそこで一緒にいたらしく中で感じるものがあるだろう。「成果を分け合える仕事なんて、なかなかほかにない」。農業のことをうたったキャッチコピーが頭をよぎる。表紙の青木さん「職員も時には一緒に酒を酌み交わしながら牛のことを語り合ってきた。これからも農家の良きパートナーで」とエールをくれた。特集のアンケートの中から浮かび上がるのは、週5日はたらいで、土日にもまた田んぼを守ってきた「お父さん」たちの、地域の行く末を案じる姿。そこに寄り添って立つJAでありたい。(五)

無料相談日

JAでは、各種相談日を設けていますので、お気軽にご利用ください。各相談場所へ事前に電話予約をしてください。

内容	月	日	場所
年金相談	2月	10日(水)	恵那支店
		"	坂下支店
		17日(水)	下野支店
	3月	"	加子母支店
		"	付知支店
		3日(水)	山岡支店
		"	上村支店
		"	明智支店
		10日(水)	恵那支店
	3月	"	坂下支店
		17日(水)	下野支店
		"	加子母支店
"	"	付知支店	

内容	月	日	場所
ローンセンター 年金相談	2月	21日(日)	恵那店
	3月	7日(日)	中津川店
		21日(日)	恵那店

内容	月	日	場所
法律相談	2月	10日(水)	下野支店
		"	本店
		17日(水)	恵那支店
	3月	"	山岡支店
		10日(水)	下野支店
		11日(木)	本店

内容	月	日	場所
税務相談	2月	10日(水)	恵那支店
		22日(月)	下野支店
	3月	10日(水)	山岡支店
		22日(月)	本店

ご案内窓口 市外局番 ☎(0573)

- 本店 ☎78-0124
- 恵那支店 ☎25-5291
- 山岡支店 ☎56-2121
- 明智支店 ☎54-2171
- ローンセンター中津店 ☎65-3145
- ローンセンター恵那店 ☎26-2999
- 上村支店 ☎47-2311
- 坂下支店 ☎75-4111
- 加子母支店 ☎79-2241
- 付知支店 ☎82-2121
- 下野支店 ☎72-2061

次回のふれあい訪問日

令和3年3月 **9日(火)・10日(水)**

緊急連絡先

- ▶ 事故をしてしまったら TEL 0120-25-8931
- ▶ 通帳・キャッシュカードを無くしてしまったら TEL 0120-21-5522
- ▶ 葬儀に関するご相談は TEL 0120-09-8382
- ▶ 電化製品のお問い合わせは TEL 0573-78-0122
- ▶ プロパンガス・ガス器具のお問い合わせは TEL 0573-68-7744

Heartful Communication

ひがしみの②

● FEBRUARY / Vol.275 2021年2月1日発行

JAひがしみのホームページ

ひがしみの産のおいしいレシピや食材、最新情報はこちら
<https://ja-higashimino.or.jp>

JAひがしみの

検索



発行：東美濃農業協同組合 (JAひがしみの)
 〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-19
 TEL 0573-78-0124 FAX 0573-68-7724
 <E-mail> koho@ja-higashimino.gjadc.jp
 編集：総合企画部 組織広報課

お伺いしたのは

店舗名

担当者名

です。